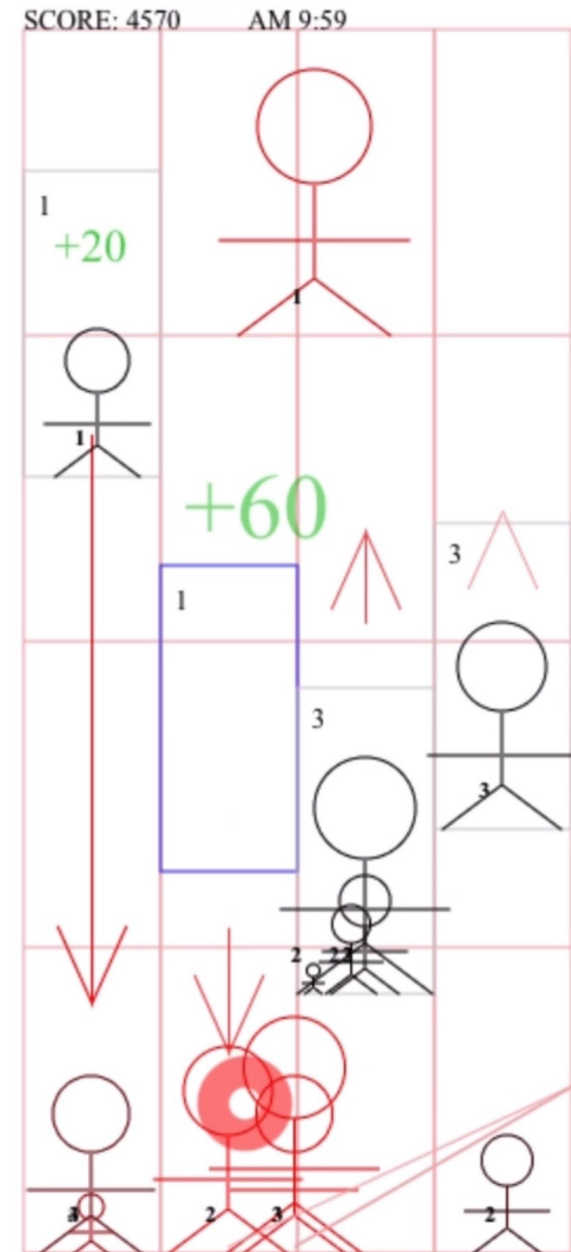


Elebeater

(えれびーたー)

エレベーターの頭脳(アルゴリズム) になって遊んで学ぶ
エレベーターゲームのプロトタイピング

2021/4/24 住吉政英



物語

昔々、たくさんの人たちが電車やエレベーターに乗って移動していた時代がありました。

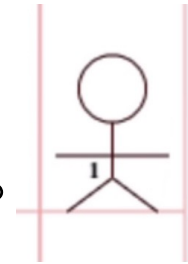
これは その時代のエレベーターが舞台のゲームです。

あなたは エレベーターの頭脳(アルゴリズム)になって、エレベーターを利用する人たちを効率よく運んでください。

目的

- エレベーターを利用する人たちが目的階に到着できるようにエレベーターを操作してください。

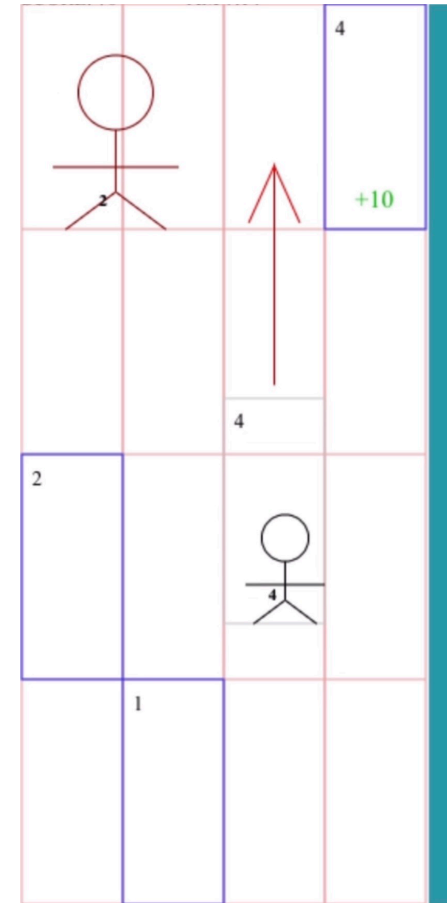
- 人の数字は、その人が行こうとしている階です。



- 人がエレベーターに乗ると目的階ボタンを押して自動的に移動していきます。

- エレベーターの数字は、現在または行き先階です。

- あなたは人が乗っていないエレベータ(青)を操作できます。

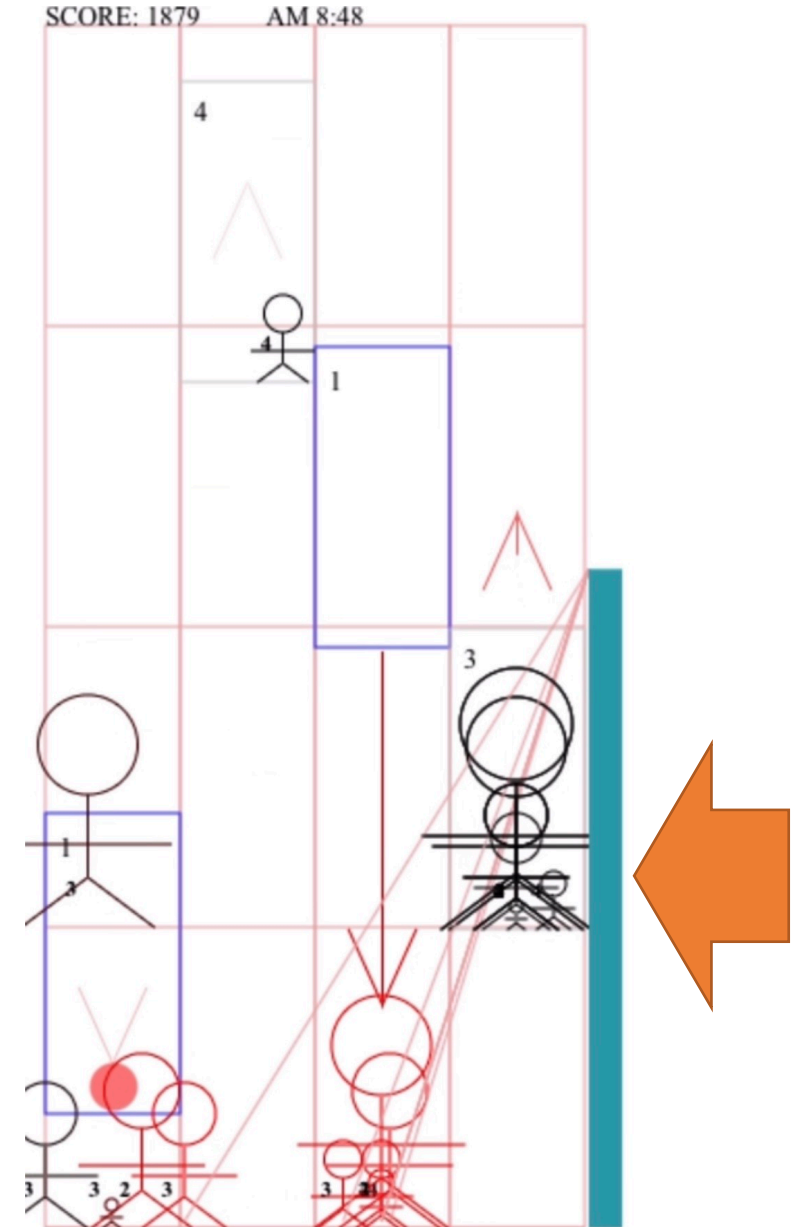


得点

- 人が目的階に到着すると、スコアが加算されます。
- 人が連続して目的階に到着すると加算されるスコアが増えます
(コンボ)

ゲームオーバー

- 画面右のゲージは、ビルの資産価値です。
 - 人が待たされ続けて怒ると(赤くなる) 資産価値が下がっていきます。
 - 人が目的階に到着すると資産価値が戻ります。
 - 資産価値が 0 になると ゲームオーバーです。



操作方法

人が乗っていない青いエレベーターを操作できます。

- タッチ
 - エレベーターをタッチした階に向かわせます。
 - 素早く連続でタッチすると Beat Move (加速移動)で早く移動できます。
- フリック
 - 素早くフリックすると Spring Move (バネ移動)で高速移動できます。
- タッチしたまま
 - エレベーターの扉を開けたままの状態相当にして、移動開始しません。

プレイ動画

- <https://youtu.be/ilri0Gdf8C0>

遊ぶ

- <https://elebeater.net/>

関連情報

- GitHub (プログラム)
 - <https://github.com/sonicdaw/elevators>

その他

- ゲームの制作について
 - 2014年4月頃に友人との雑談時のインスピレーションでエレベータと人の動きと操作をJavaScriptで再現してみました。
 - 2014/4/7 のバージョン https://entatonic.net/elevators/index_20140407_2.html
 - 同時期に産まれた子供が大きくなって、一緒に観ていたところ、夢中になって楽しんでくれたのでルールを拡張してゲームに発展させたのがこのゲームです。
- ゲームの効果について
 - 子供は子供なりに、大人は大人なりに楽しんで、エレベータの大変さがわかるゲームになりました。
 - エレベーターのアルゴリズムを体感的に理解できる効果があると考えています。
 - エレベータの気持ち分かれば、エレベータがなかなか来なくてもイライラしなくなる効果もありました。